

予算常任委員会総務分科会

(令和3年11月29日)

○ 山口智也委員長

それでは、総務常任委員会を開会いたしますので、事務局はインターネット中継を開始してください。

また、分科会長報告の作成を後ほどさせていただきますけれども、質疑の中で重要な部分を中心に記載していきたいと考えておりますので、その目安とするため、委員の皆様におかれましては、可能な限り報告書に記載してほしい部分はその旨を質疑の最後に付け加えていただきたいと思います。

それでは、財政経営部に係る議案の審査に入ります。

まず、部長よりご挨拶をお願いいたします。

○ 荒木財政経営部長

財政経営部、荒木でございます。おはようございます。よろしくお願いいたします。

子育て世帯への臨時特別給付金関係の歳入ということで本日お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 山口智也委員長

ありがとうございます。

議案第67号 令和3年度四日市市一般会計補正予算（第9号）

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入全般

○ 山口智也委員長

それでは、予算常任委員会総務分科会として、議案第67号令和3年度四日市市一般会計補正予算（第9号）についてのうち、財政経営部所管部分を議題といたします。

資料の説明を求めます。

○ 廣田財政課長

財政課、廣田でございます。

資料の説明をさせていただきます。資料のほうは、タブレット左側のホームをお開きいただきまして、今日の会議内の総務分科会をお開きください。その中の112番、補正予算（第9号）案の概要をお開きください。その2ページでございます。よろしいでしょうか。

2ページでございます。上半分が歳入でございます。

歳入のうち、款16国庫支出金につきまして、それぞれ子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金、5万円を配るほうでございますが、こちらが23億30万円、それからもう一つ、給付事務費補助金でございますが、事務費のほうに対応する分として2720万円、合わせまして23億2750万円ということで、歳出と同額、10分の10の国庫支出金を計上してございます。

補正の詳しい内容については参考資料のほうでまたご説明したいと思いますので、資料が切り替わって申し訳ございません、戻っていただきまして114番、補正予算の参考資料（第9号）をお開きください。その3ページでございます。よろしいでしょうか。

参考資料の3ページ、個別調書でございます。

子育て世帯への臨時特別給付金ということで、「（先行給付金）」とございますが、子育て世帯に対しまして子供1人当たり10万円相当の給付のうち、先行して現金5万円を給付するものでございます。

対象といたしましては、中学生以下の分、それから高校生等の分というふうに大きく二つに分かれてございます。

所得制限といたしまして、モデル世帯として子2人と配偶者が1人、3人を扶養にしている場合は、収入が960万円が目安となっております。所得制限の額でございます。

給付額は、児童1人につき5万円。

対象児童数は約4万6000人ということで、内訳は中学生が約3万8000人、高校生が約8000人。

給付日でございますが、先行して中学生以下、それと高校生の子であっても中学生の兄弟姉妹がいる場合は、12月10日に先議いただきまして、その後12月27日に振り込む予定でございます。それ以外の、兄弟姉妹が高校生のみの方、それから公務員等のそういう特例分、こういう分につきましては市役所のほうで申請いただかないとデータが把握できておりませんので、1月以降、申請受付後に随時振り込んでまいります。

予算額は23億2750万円で、財源内訳といたしまして、国庫支出金10分の10、23億2750万円を計上してございます。

説明は以上でございます。

○ 山口智也委員長

説明はお聞き及びのとおりです。

これより質疑に入ります。

ご質疑等がありましたら、挙手にてご発言願います。

○ 加納康樹委員

よろしくお願いいたします。歳入というところで直接関係しないんですが、今、国会のほうでも話題になっているので、確認だけさせていただきたいと思います。

今回のは5万円の現金給付に係るというところで、予算でいくと四日市の場合、給付事務費として2700万円余りということを書いておりますが、国のほうで問題になっている、残り5万円をクーポン券にすることによって1000億円近い事務経費がかかってくるんだという報道がなされております。四日市で残りの5万円をクーポン券としてするときの給付事務費というのはどのぐらいが予測をされているのでしょうか。

○ 廣田財政課長

クーポン券の事務費については、クーポンの使い道から何からまだ全然内容が我々分かりませんので、事務費を計算したことはございませんが、やり方によっては現在の先行5万円よりは事務費は当然かかるのかなというふうに推測します。

以上です。

○ 加納康樹委員

現金5万円の給付に対してクーポン券を作る、いろんな形で配るというのは、これよりはかかるというのか、これの何倍ぐらいかかるということなんでしょうか。相当かかるんじゃないかというふうな感じがするんですが。

○ 廣田財政課長

紙で配るものなのかデジタルでやるのか、使えるお店がどれくらい限定されるのか、もうそういうことによって大きく変わってくると思いますので、現時点ではちょっと想定は難しいかなと思います。

以上です。

○ 加納康樹委員

難しいということなのでここでとどめますし、別に報告書にも書いてくれというものは無いんですが、総務委員会の皆様にだけは改めてご確認いただきたいのが、2700万円という数字をぜひ覚えておいていただいて、今度クーポンが出てきたとき、この数字がどのくらいになるのか、クーポンと5万円・5万円を分けたということがどれだけばかばかしいことなのかということだけ、皆さんにも共有していただきたいということで発言をさせていただきました。

以上です。

○ 山口智也委員長

ありがとうございます。

加納委員に確認させていただきたいんですが、先ほど報告書には記載はいいというご発言ありましたけれども、せっかくご質疑いただいたので、要旨を報告書に記載することもできますけれども、いかがでしょうか。

○ 加納康樹委員

委員長でご配慮いただけるのであれば、ぜひそれは全議員の皆様にも思いは伝えたいと思いますので、したためていただければありがたいです。

○ 山口智也委員長

それでは、そのようにさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。他にご質疑はございますでしょうか。

○ 伊藤嗣也委員

対象児童数で「約」がついているんですけど、来月半ばにはもうきっちりせなあかん、

今の時点で「約」がついているのはなぜなのかということと、下の予算額を5万円で割ると4万6550人で、550人違うんですね、対象児童数と。550人の違いが、「約」はいつ確定するのかまだ分かっていないということだと思っただけ。

○ 廣田財政課長

対象児童数ですけれども、分かりやすく「約」と丸めて表示してございますが、23億30万円の、30万円を5で割りますと6人ということで、4万6006人で積算してございます。実際にはこれから生まれる児童数とかをあと7か月分、毎月200人ぐらい生まれる部分とか、ちょっと確定しない部分を含めて数字が丸まってございます。

以上です。

○ 伊藤嗣也委員

ありがとうございます。

逆にいうて、6人でいいんですか。

○ 廣田財政課長

4万6006人って、6人というのはちょっと端数になってございますが、国のほうに所要額調査というのがありまして、そちらへ報告した人数、それから金額になってございます。それと一致してございます。

以上です。

○ 伊藤嗣也委員

ありがとうございます。結構です。

○ 山口智也委員長

ありがとうございます。

他にご質疑ございませんでしょうか。

(なし)

○ 山口智也委員長

他にございませんで、これより討論に移ります。

討論がありましたらご発言願います。

(なし)

○ 山口智也委員長

別段ございませんで、これより分科会としての採決を行いたいと思ひますが、よろしうでしうか。

(異議なし)

○ 山口智也委員長

なお、全体会へ送るか否かは採決の後にお諮りいたします。

それでは、原則どおり採決を行いたいと思ひます。

反対表明がありませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

議案第67号令和3年度四日市市一般会計補正予算(第9号)、歳入全般については原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 山口智也委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

それでは、全体会へ審査を送るべき事項について確認を行います。

本件については、全体会へ審査を送るべきとのご提案がありましたら、挙手にてご発言願います。

(なし)

○ 山口智也委員長

それでは、全体会送りはなしとさせていただきます。

[以上の経過により、議案第67号 令和3年度四日市市一般会計補正予算（第9号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳入全般について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 山口智也委員長

最後に、分科会長報告は正副委員長一任をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 山口智也委員長

ありがとうございました。

それでは、本日の審査は以上でございます。お疲れさまでした。

10：31 閉議